小学校外国語活動　学習指導案

学校名　三次市立甲奴小学校
授業者　Ｔ１　HRT　石川　裕子
Ｔ２　ALT　Jamila Bharath

１　日　時　令和２年　２月１４日（木）第５校時

２　学　年　第５学年　１１名

３　単元名　What would you like?　料理・値段　（We Can 1　Unit 8）

４　単元について

○児童観　本単元では，英語にも場面に応じた丁寧な表現があることを学ぶ。児童は，これまで学習した“What do you want?”“I want ~.”という表現を使用する場面と比べて，“What would you like? ”“I'd like ~.”を使う場面は何が違うのかを考える。そして，日本語の場合もそうであるように，言葉は場面や相手との関係によって使い分ける必要があることに気付くことをねらいとしている。

また，料理名を推測して単語を読む活動，料理名を正しく書き写す活動を通して，読むこと，書くことにさらに興味をもたせ慣れ親しませることのできる教材である。

加えて，学習した栄養素についての知識も活かしながら，思考して食材を選ぶなど，家庭科や学級活動の食育とも関連を図ることのできる単元である。

○単元観　本学級の児童は，第１学年から英語活動を行ってきた。昨年度は，年間 35 時間の外国語活動を行い，今年度は週に２時間，外国語活動を実施している。

第４学年では，“What do you want?”“I want ~.”の表現を使って，給食のメニューを考える活動を経験している。また，今年度の 2 学期には“What do you want to eat?”“I want to eat ~.”の表現も学習した。

読むこと，書くことに関しては，第４学年で大文字の名称の学習，第５学年１学期で小文字の学習をしたのち，大文字・小文字を書くことも毎時間少しずつ取り組んできた。また，文字と音の認識を深めるためのジングルを唱える活動も継続して行っている。2 学期後半には，単語を見て，文字の音を手掛かりに，推測して読もうとしたり，自分の思いや考えを伝えるために，ワードリストから単語を選んで書き写したりする姿が見られるようになっている。

○指導観　指導に当たっては，第１時で，T1 が「誰かのためのメニュー」を考え，必要な料理をそろえる場面を見せ，単元のゴールをつかませる。やり取りを見せることで，客と店員の間では，どのような表現を使用するのかを，既習表現と比較しながら気付かせたい。そして，単元の中盤では，「誰かのため」のメニューを考えながら，丁寧な表現のやり取りを重ね，表現に慣れ親しむ。そして，単元の終末には児童同士でレストランのロールプレイを行いながら，さらに「もう一人の誰かのためのメニュー」を完成できるようにする。「誰かのため」と具体的な人物を設定することで，その人物のことを思いながら根拠をもってメニューを選ぶことができ，児童の思考を促すことにつながると考える。

メニューを作成する際には，これまで何度も聞いたり話したりしてきた料理名を推測して読み，対応する料理のイラストを選ぶ活動を行う。この活動を通して，推測して読む際には，文字の音を手掛かりにすればよいことに気付かせたい。

また，作成したメニューを参考にして，注文した料理名を書き写し，メモとして残していく。4 線のどの位置に文字を書くのかに留意させながら，書くことに慣れ親しませていきたい。

単元のゴールで自分の欲しいメニューを考える際には，家庭科で学習した栄養素についての知識も活かしながら，思考して食材を選べるように助言する。

5　単元の目標

○意欲的に丁寧な表現で欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。
○場面や相手に応じて，金額や感想など，必要な情報を伝え合おうとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○丁寧な表現を使って欲しいものを尋ねたり答えたりする表現や金額を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
○簡単な語句を書き写すことや，文字の音に慣れ親しむ。　【外国語への慣れ親しみ】
○欲しいものを尋ねたり答えたりする丁寧な表現があることに気付く。

【言語や文化に関する気付き】

6　新学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ　ゆっくりはっきりと話されれば，日常生活に関する身近で簡単な事柄について，具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
読むこと	イ　音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと （やり取り）	ア　基本的な表現を用いて指示，依頼をしたり，それらに応じたりすることができるようにする。

7　単元ゴール

コミュニケーションの 目的・場面・状況	「誰かのためのメニュー」を考え，必要な料理をそろえるためにレストランのロールプレイを行う。
目指す発話例	店員: What would you like? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? 客: I'd like grilled fish. I'd like grilled fish for my grandfather, please. 店員: OK. Nice choice. 客: How much is it? 店員: Grilled fish is 850 yen. 850 yen, please. 客: Here you are. 店員: Thank you very much. Please enjoy.

8　言語材料（下線は新出表現・語彙）

主な表現	主な語彙
・<u>What would you like?</u> ・<u>I'd like (spaghetti).</u> ・<u>It's for (my brother).</u> ・<u>How much?</u>　・<u>It's (970 yen).</u> ・Here you are.　・Thank you. ・This is for (my brother).	・<u>家族（father, mother, grandmother, grandfather, brother, sister）</u> ・<u>busy</u>　・<u>special</u>　・<u>healthy</u>　・<u>menu</u>　・<u>meal</u>　・<u>dessert</u> ・<u>main</u>　・<u>side</u> ・<u>数（seventy, eighty, ninety, hundred）</u> ・飲食物　・果物／野菜　・状態／気持ち　・数（1～60）

9　単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
○進んで丁寧な表現を使って欲しいものを尋ねたり答えたりしようとしている。 ○金額や感想など，場面や相手に応じて，必要な情報を伝え合おうとしている。	○欲しいものを尋ねたり答えたりする丁寧な表現や，金額を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 ○簡単な語句を書き写すことや，文字の音に慣れ親しんでいる。	○英語にも欲しいものを尋ねたり言ったりする丁寧な表現があることに気付いている。

10　単元指導計画

時		各時間の目標（◆）と主な活動（○） （　）＝児童に提示するめあて【　】＝誌面にある活動	評価 コ	慣	気	評価規準	表現例
課題との出会い	1	◆英語にも欲しいものを尋ねたり答えたりする表現があることに気付く。 〔英語での料理の名前は？〕 ○【Food Jingle】 ○【Let's Watch and Think 1】p.58,59 のトルコ，インド，フランスを視聴し，Small Talk をする。 ・世界の様々な食生活を知り，既習表現を使って食べたいものを伝え合う。 ○指導者のやり取りを見て，単元ゴール「レストランに行く練習をしよう」という見通しをもつ。 ○ポインティングゲーム ・p.64.65 を使って食べ物の言い方を確認するゲームを行う。 ○【Let's Listen 1】 ・登場人物と選んだ食べ物を線で結ぶ。Small Talk で使った既習表現との違いについて分かった事を話し合う。 ○【Let's Chant】What would you like? ○振り返りをする。			○	・英語にも欲しいものを尋ねたり言ったりする丁寧な表現があることに気付いている。	・What would you like? ・I'd like (spaghetti).
情報の収集／整理・分析	2	◆欲しいものを尋ねたり答えたりする丁寧な表現や，金額を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 〔レストランでのやり取りは？〕 ○【Sounds and Letters 1】 ・初めの音が同じものを見つけて○を付ける。 ○【Let's Watch and Think 1】p.58,59 のオーストラリア，韓国を視聴し，Small Talk 1 をする。 ・世界の様々な食生活を知り，既習表現を使って食べたいものを伝え合う。 ○指導者のやり取りから，レストランで注文する際の丁寧な表現を思い出す。 ○【Let's Chant】What would you like? ○Small Talk　2 ・指導者が欲しい物を尋ね，児童が丁寧な表現で答える。 ・指導者が値段を尋ねることで，値段の尋ね方や金額の表現，100 以上の数字に気付く。 ○Buzz Game を行う。		○		・欲しいものを尋ねたり答えたりする丁寧な表現や，金額を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	・What would you like? ・I'd like (spaghetti). ・How much? ・It's (970 yen).

		・ゲームの前に，これまでに学習した数字の言い方を復習し，70 以上の言い方を推測させる。 ・次時の課題として値段を尋ねたり答えたりすることも含めてやり取りできるようになることを確認する。 ○振り返りをする。					
情報の収集／整理・分析	3	◆欲しいものを尋ねたり答えたりする丁寧な表現や，金額を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 〔レストランでのやり取りをしてみよう。〕 ○【Sounds and Letters 2】 ・初めの音が同じものを見つけて○を付ける。 ○【Let's Watch and Think 1】p.58,59 ハワイ，ロシアを視聴し，Small Talk 1 をする。 ・世界の様々な食生活を知り，既習表現を使って食べたいものを伝え合う。 ○前時を想起し，本時の課題を確認する。 ○Buzz Game を行う。 ・数字の言い方の確認をする。 ○注文しよう。 ・【Let's Chant】What would you like? ・指導者との Small Talk で値段を尋ねる表現に慣れた後，メイン，サイド，デザート料理の値段を各自で設定し，ペアで注文をし合う。 ○振り返りをする。		○		・欲しいものを尋ねたり答えたりする丁寧な表現や，金額を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	・What would you like? ・I'd like (spaghetti). ・How much? ・Here you are. ・Thank you. ・It's (970 yen). ・It's (nice). ・Good choice.
	4	◆欲しいものを尋ねたり答えたりする丁寧な表現や，金額を尋ねたり答えたりする表現，また，簡単な語句を書き写すことや，文字の音に慣れ親しむ。 〔メインディッシュを注文しよう。〕 ○【Food Jingle】 ○Small Talk ・メインディッシュ ○メインのメニュー表を作ろう。 ・メニュー表に記された食べ物を推測して読み，ペアでそれに一致する料理の絵を貼る。 ○注文しよう。 ・【Let's Chant】What would you like? ・完成したメニュー表を使って，ペアで 1 人がレストランスタッフ，もう一人が客になり，やり取りをする。 ○料理名を書こう。		○		・欲しいものを尋ねたり答えたりする丁寧な表現や，金額を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 ・簡単な語句を書き写すことや，文字の音に慣れ親しんでいる。	・What would you like? ・I'd like (spaghetti). ・How much? ・It's (970 yen). ・Here you are. ・Thank you. ・It's (nice). ・Good choice.

		・メニュー表の中から「誰かのため」のメインディッシュを選んで書く。 〇振り返りをする。					
	5	◆欲しいものを尋ねたり答えたりする丁寧な表現や，金額を尋ねたり答えたりする表現，また，簡単な語句を書き写すことや，文字の音に慣れ親しむ。 〔サイドディッシュを注文しよう。〕 〇【Sounds and Letters 3】 ・初めの音が同じものを見つけて〇を付ける。 〇Small Talk ・サイドディッシュ 〇【Let's Listen 2】 ・音声を聞いて登場人物の注文したものや値段を聞き取る。 〇サイドディッシュのメニュー表を作ろう。 ・メニュー表に記された食べ物を推測して読み，ペアでそれに一致する料理の絵を貼る。 〇注文しよう。 ・【Let's Chant】What would you like? ・完成したメニュー表を使って，ペアで１人がレストランスタッフ，もう一人が客になり，やり取りをする。 〇料理名を書こう。 ・メニュー表の中から「誰かのため」のサイドディッシュを選んで書く。 〇振り返りをする。		〇		・欲しいものを尋ねたり答えたりする丁寧な表現や，金額を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 ・簡単な語句を書き写すことや，文字の音に慣れ親しんでいる。	・What would you like? ・I'd like (spaghetti). ・How much? ・It's (970 yen). ・Here you are. ・Thank you. ・It's (nice). ・Good choice.
	6 本 時	◆欲しいものを尋ねたり答えたりする丁寧な表現や，金額を尋ねたり答えたりする表現，また，簡単な語句を書き写すことや，文字の音に慣れ親しむ。 〔デザート・飲み物を注文しよう。〕 〇【Food Jingle】 〇Small Talk ・デザート・飲み物 〇デザート・飲み物のメニュー表を作ろう。 ・メニュー表に記された食べ物を推測して読み，ペアでそれに一致する料理の絵を貼る。 〇注文しよう。 ・【Let's Chant】What would you like? ・作成したメニュー表を使って，ペアで１人がレストランスタッフ，もう一人が客になり，やり取りをする。		〇		・欲しいものを尋ねたり答えたりする丁寧な表現や，金額を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 ・簡単な語句を書き写すことや，文字の音に慣れ親しんでいる。	・What would you like? ・I'd like (spaghetti). ・How much? ・It's (970 yen). ・Here you are. ・Thank you. ・It's for (my brother.) ・It's (nice). ・Good choice.

		○料理名を書こう。 ・メニュー表の中から「誰かのため」のデザート・飲み物を選んで書く。 ○振り返りをする。					
創造	7	◆進んで，丁寧な表現を使って欲しいものを尋ねたり答えたりしようとし，また，金額や感想など，場面や相手に応じて，必要な情報を伝え合おうとする。 〔もう一人の誰かのための料理を注文しよう。〕 ○【Sounds and Letters 4】 ・ワードサーチ ○開店準備をしよう。 ・メイン，サイド，主食・スープ，デザート・飲み物の各担当に分かれて，メニューの値段などを考える。 ・【Let's Chant】What would you like? ○ロールプレイをしよう。 ・店員グループ，客グループに分かれ，「もう一人の誰かのため」の料理を手に入れるためのロールプレイをする。 ○振り返りをする。	○			・進んで，丁寧な表現を使って欲しいものを尋ねたり答えたりしようとしている。 ・金額や感想など，場面や相手に応じて，必要な情報を伝え合おうとしている。	・What would you like? ・I'd like (spaghetti). ・How much? ・It's (970 yen). ・Here you are. ・Thank you. ・It's for (my brother.) ・It's (nice). ・Good choice.
	8	◆進んで，自分の考えたメニューやその理由を説明しようとする。 〔考えたメニューを発表しよう。〕 ○【Sounds and Letters 5】 ・食べ物の最初の音を考えながら小文字を書く。 ○【Let's Chant】What would you like? ○「もう一人の誰かのため」のメニューの料理名を書き写す。 ○【Let's Listen 4】 ・誰のためにどんなメニューを考えたのかを伝える表現を聞く。 ○完成したメニューを発表し合う。 ○振り返りをする。	○			・進んで，自分の考えたメニューやその理由を説明しようとする。	・What would you like? ・I'd like (spaghetti). ・How much? ・It's (970 yen). ・Here you are. ・Thank you. ・It's for (my brother.) ・It's (nice). ・Good choice.

11　本時の学習

（１）本時の目標と授業の流れ

第６時	目　標：欲しいものを尋ねたり答えたりする丁寧な表現や，金額を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。簡単な語句を書き写すことや，文字の音に慣れ親しむ。 （外国語への慣れ親しみ） 準備物：電子黒板　デザート・飲み物のメニュー表　イラストカード　ワークシート

過程	児童の学習活動	教師の支援		指導上の留意点等 ◆評価
		Ｔ１（外国語担当）	T2（ＡＬＴ）	
導入	①　挨拶をする。 ・学習リーダーが中心となってやり取りを進める。 L: Good afternoon, everyone. What day is it today? What's the date today? How is the weather today?	○挨拶をする。 "Hello! How are you?" （ペアでのやり取りは後の Small Talk で行うことを伝える）	○Greeting "Good afternoon, class." "I'm fine, thank you."	学習リーダーを中心に会話を行う。
	②　【Jingle】Food	○単元の流れから本時の目当てを確認した後，ジングルを言うことを伝える。 "Let's say the jingle.	○【jingle】Food	単元ゴールを想起させ，本時のめあてをもたせる。
	③　本時のめあてを確認する。	デザート・飲み物を注文しよう。		
	④　Small Talk 指導者同士のやり取りを聞き，本時の料理（デザート・飲み物）を確認する。	○既習を想起させながら，指導者同士のやり取りを見せ，本時に扱う料理の発音を確認する。	○Small Talk ・introduction of the dessert & drink	
	T1: Look. This is the menu for *Yuzuru Hanyu*. I'd like beefsteak for the main dish, and fried chicken and corn soup for the side dish. And, I'd like a dessert and a drink, too, for my *Yuzuru.* T2: OK. I have good desserts and drinks at my restaurant. T1: Sounds nice! T2: Our desserts are cake, ice cream, fruits, parfait and *daifuku*. Our drinks are juice, green tea, coffee, milk and mineral water. T1: Wow, great!			店員と客というスタンスで「丁寧に尋ねたり答えたりする場面」と言う設定を大切にする。
展開	⑤　Ｔ２の後についてメニューの単語を発音する。	○メニューをオーダーするために発音を確かめる必要があることに気づかせ，発音の練習をすることを伝える。	○Practice the words ・repeat ・feint repeat	
	⑥　メニュー表を作ろう。 ・メニュー表に記された食べ物を推測して読み，ペアでそれに一致する料理の絵を貼る。	○デザート・飲み物のメニュー表を見せるが，文字ばかりで分かりにくいので，写真を加えてほしいことを伝える。 ・全員で答えを確認する。	○Making menu sheet for desserts and drinks ・Pass SS the sheet & pictures	

	⑦　注文しよう。 ・【Let's Chant】What would you like? ・完成したメニュー表を使って，ペアで１人がレストラン店員，もう一人が客になり，「誰かのため」のやり取りをする。	○ペアで「誰かのため」の料理を注文するやり取りをすることを伝える。 ・チャンツを流し，表現を確認させる。 ・Ｔ２とやり取りの見本を見せる。	○Activity ・【Let's Chant】What would you like? ・Demonstration	相槌を打ったり，一言添えたりすることを意識させる。 中間評価で良い例を取り上げ，共有する。 家庭科との関連も意識しておく。 ◆欲しいものを尋ねたり答えたりする丁寧な表現や，金額を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ◆簡単な語句を書き写すことや，文字の音に慣れ親しむ。
	児童の発話例 店員: What would you like? Ice cream, fruits, cake, *daifuku*, or parfait? 客: Umm…, I'd like a parfait for my mother. 店員: OK. Nice choice. What would you like for drink? 客: I'd like coffee for my mother. 店員: Oh, that's nice. 客: How much is this? 店員: It's 350 yen, please. 客: OK. Here you are. 店員: Thank you very much. Please enjoy.			
まとめ	⑧　注文したものを記録しておこう。 ・メニュー表の中から「誰かのため」に選んだ料理名を手本を見ながら書く。	○デザート・飲み物メニューの中から「誰かのため」に選んだ料理名を手本を見ながら書くことを伝える。	○Writing	
	⑨　振り返りを書き，発表する。	○振り返りを書くことを伝え，何人かに発表をさせる。	○Reflection	
	⑩　挨拶をする。	○挨拶をする。 "Good-bye. See you."	○Greeting "Good-bye. See you."	

（２）本時の板書計画

February 14th

What would you like?

デザート・飲み物を注文しよう。

メニュー

単元の流れ

What would you like ?

I'd like cake .

milk .